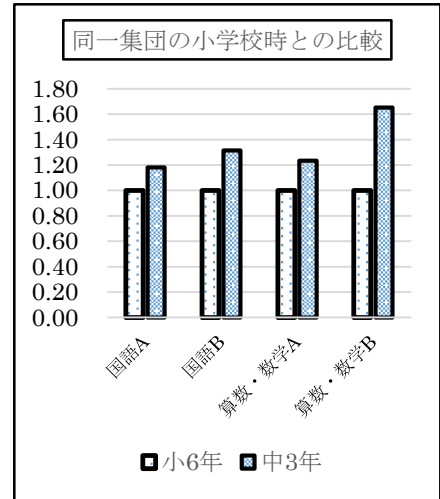


| | |
|-----------------------------------|---|
| <p>① 設定 目標</p> | <p>魅力ある授業の創造</p> |
| <p>② 本年度の 取り組み 状況</p> | <p>1. 学力向上委員会が核となり、学校全体の活性化を図り、組織的な学力向上の取り組みの一層の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校活性化計画の策定 ・研究テーマの設定 ・各種テスト（全国学力・学習状況調査、チャレンジテスト等）の分析と共有化 ・校内全体研修会の企画 ・運営 ・授業研究会の企画・運営 ・教科代表者会の運営 ・各種情報の発信 <p>2. 授業のユニバーサルデザインに基づいて、授業スタンダードの定着や全ての子どもが「わかる・できる」授業づくり、家庭における自学自習力向上に取り組んだ。</p> <p>①全教職員で共通理解したこと(明確化した今年度のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア、ユニバーサルデザインを取り入れた(視覚化・焦点化・共有化)の授業の構造化 イ、「振り返り活動」を取り入れた授業の創造 ウ、生徒の自学自習力の向上 エ、小中連携の充実 <p>②具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ア、主な校内研修 <ul style="list-style-type: none"> 大阪府教育委員会より年間を通した講師を招き、研修を深めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・8月26日 本校と東能勢小学校合同の研修会を実施 「東能勢校区授業のスタンダード」の共有と小学校での取り組み推進を図った。 ・11月21日 校内授業研究(国語) 主に、振り返り活動を取り入れた授業づくりの研修を深めた ・3月下旬 本校と東能勢小学校の合同研修会を予定 イ、公開授業週間(学期に一回、6月、11月、2月に実施) <ul style="list-style-type: none"> 1週間を設定し、この間に、一回は授業見学を行い、相互評価を行った。また、データは、担当者が集計・分析し、授業づくりに活かしていった。 ウ、自学自習力向上のために <ul style="list-style-type: none"> 毎日宿題、週末課題の実施など、学年にあった方法で行い、子どもたちの習慣化を図った。 エ、生徒会が中心となって、「東能勢授業スタンダード」を提案し、取り組みを始めた。生徒会が、自分自身と学級集団についてアンケートをとり、分析し、できていることと考えていきたいことを3つの目標としてまとめた。 <ul style="list-style-type: none"> 「東能勢授業スタンダード」 <ul style="list-style-type: none"> 《続けていきたい3つのこと》 <ul style="list-style-type: none"> 時間・・・チャイム着席をする。 あいさつ・・・授業のはじめと終わりのあいさつをする。 教え合い・・・互いに話し合い、教え合いをする。 《変えていきたい3つのこと》 <ul style="list-style-type: none"> 準備・・・忘れ物をなくそう。 集中・・・授業中の私語をやめ、人の話をしっかり聞こう。 積極性・・・すすんで発表、質問しよう。 |

<全国学力・学習状況調査の結果から>

昨年 4 月 19 日に実施された調査結果については、昨年 11 月に保護者の皆さまにお知らせしました。内容については、本校 HP に掲載しています。国語 A については、全国平均を下回りましたが、国語 B は全国平均とほぼ同程度でした。数学は A・B とも全国平均を上回っており、特に数学 B はしっかりと上回りました。

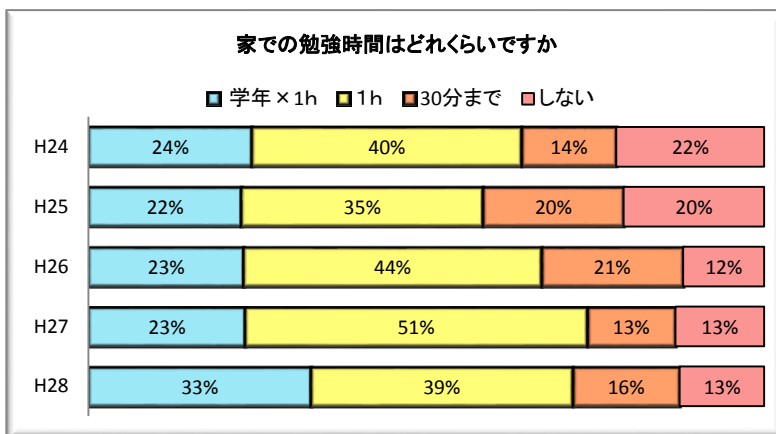
右上の図は、本校 3 年生が、3 年前の小学校 6 年生の時に受けた調査の平均正答率を 1 として今回の結果と比較した図です。これより、この 3 年間で国語、数学の正答率が、かなり伸びていることが分かります。



<学校教育自己診断の結果から>



左図は、毎年 11 月に実施する学校教育自己診断の保護者回答の 5 年間の推移をあらわしたものです。「子どもは授業がわかりやすいと言っている」と肯定的な回答が、年々増加しています。学力向上のため、生徒にとってわかりやすい授業であることは、大切な要素の一つです。本校が取り組んでいる、ユニバーサルデザインに基づいた授業改革の成果と考えます。



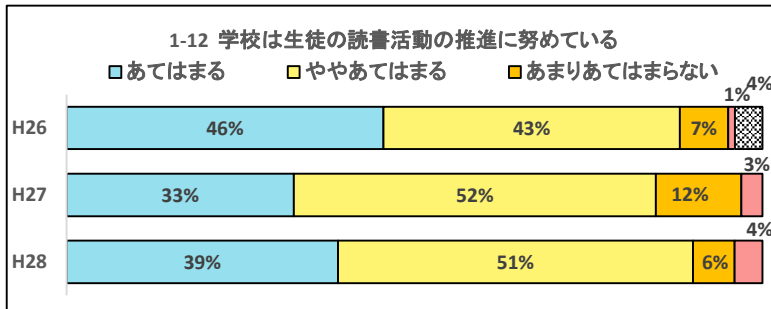
左図は、家庭学習時間の生徒アンケートのまとめです。経年変化をみると、30 分未満しか家庭学習をしないと回答した生徒の割合は、減少傾向にあることが分かります。家庭における自学自習力の向上に取り組んでいる成果です。しかし、家庭学習の時間が 30 分以下では少ないと考えます。

家庭学習の時間を生み出し、自学自習力の向上をさらにめ

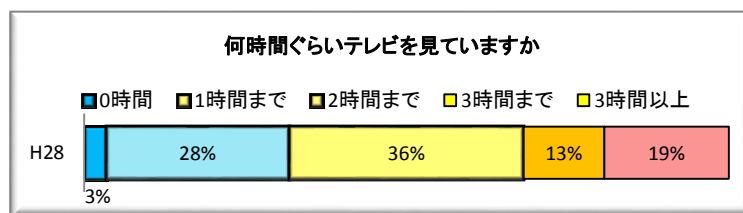
ざすためには、小学校との連携を深め、小学校低学年からの読書習慣のさらなる向上をめざすことが大切と考えます。読書をすることで、テレビやゲームの時間を子ども自身でコントロールし時間を生み出すことになり、子どもの自制心が育まれます。この自制心が、学年が進み、中学生になるとときには、その学年に合わせた家庭学習をする自制心につながると考えます。

読書活動と学力向上との関係はすでに、いろいろなところで論じられており大切です。本校では、毎日の朝読書(始業前の 10 分間)など教育活動に図書館活動を計画的に取り入れています。

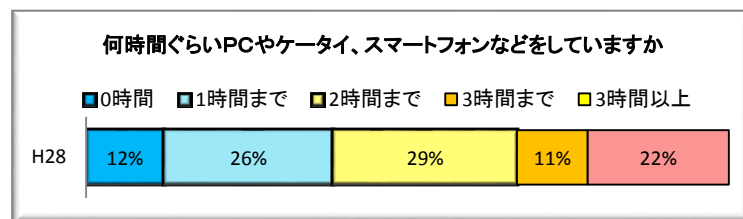
平成 28 年 4 月の全国学力学習状況調査で、次のような調査結果が出ています。「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の項目で、週に 1~3 回以上が、本校は 41.3%に対し、全国は 7.6%となっています。



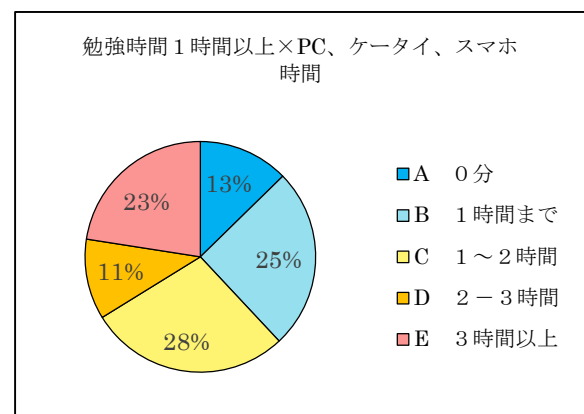
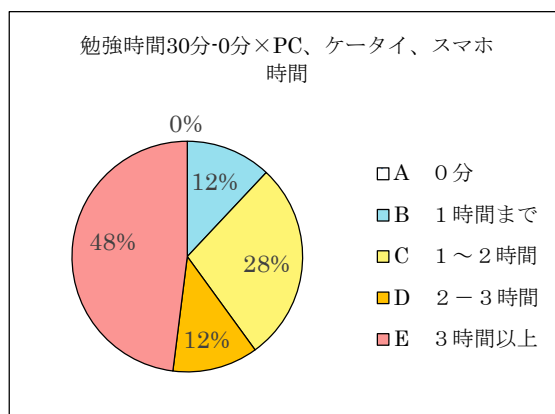
左図(保護者アンケート)から、本校の読書活動の取り組みは、保護者からも肯定的な回答をいただいていることがわかります。



左図(生徒アンケート)から、2 時間以上テレビを見ている生徒が 32%、2 時間以上 PC やケータイ、スマートフォンなどを行っている生徒が 33%いることがわかる。



テレビや PC、ケータイ、スマートフォンで過ごす時間を自制できれば、家庭での学習時間がその分生み出せることになります。



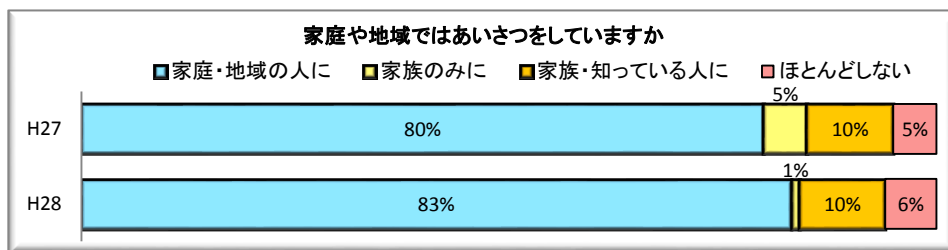
家庭学習の時間を増やすためには、家庭での過ごし方を自分でコントロールする自制心を育てることが必要です。小学校低学年から家庭での学習習慣とともに読書習慣を身につける取り組みが、自制心の育みの大きな要素になると考えます。

④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）

- ユニバーサルデザインを取り入れた授業、振り返り活動を評価します。特に、具体的取り組みとしての生徒会が中心となった授業スタンダード、を高く評価します。
- ①先生方の「校内研究に関するアンケート」から、授業改善を目指して取り組んでいるという意識が先生方の中で 2 年前よりも随分と高まっていることが伺え、先生方が一丸となって授業改善に励んでくださっていることがわかります。
②①に伴い、生徒たちもアンケートの中で「授業の中で話し合い活動をよく行っている」「グループでの調べ活動をよく行っている」の項目に対して前年度、前々年度よりもグンと高い割合で「当てはまる」と答えており、先生方の意識が生徒達によく伝わっていると思います。
③①②については結果としてすぐに表れてくるものではありませんが、これからの社会の中で生きていく生徒達には必ず役に立つ力となると思うので、引き続き頑張っていただきたいと思います。
- 生徒会が中心となって、素晴らしい「東能勢授業スタンダード」が提案されました。今後、生徒一人一人が、「東能勢授業スタンダード」を自分たちのものとして、取り組まれることを期待します。
- 「東能勢授業スタンダード」の取り組みは、すごく良いと思う。来年は「変えていきたい3つのこと」の具体的な取り組みをしてほしいと思う。
- 全国学力学習状況調査における読書時間や図書館の利用状況の結果には、本校の生徒たちが読書に大変親しんでいる様子が示されております。これまでの図書館活動や朝読書などの取り組みの成果であると思います。
- 授業の分かりやすさを視点に学校で組織的に授業改善を進めているが、教員によって差がでないようにされたい。

| <p>① 設定目標</p> | <p>豊かな心・思いやりの心の育成</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------|------------|---------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-------|---------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| <p>② 本年度の取り組み状況</p> | <p>豊かな心をはぐくむため、様々な行事を工夫し取り組んだ。 <取り組んだこと> ・年間を通し、行事への取り組み後に、自分の振り返りとともに、仲間のがんばったところを考えさせ、仲間でも共有した。そうすることで、自尊心を育むとともに、より信頼できる集団へ育み、互いの良さを認め合うことのできる生徒育成の取り組みを進めた。 ・道徳の授業を管理職も含め、全教職員で実践することで、道徳の時間の充実を図るとともに、豊かな心の育成を重点として取り組んだ。 ・生徒会活動においても、豊かな心の育成を重点として、「東能勢中フェスタ」「体育祭」「百人一首大会」などの行事に取り組むとともに、毎週水曜日の登校時における挨拶運動を行い、豊かな心・思いやりの心を育んだ。 ・人権を尊重し、生徒一人ひとりを生かし大切にしたいきめ細かな教育活動を展開し、人権尊重の精神を育成する ※HPにも掲載している各月の学校だよりをご覧ください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p> | <p><学校教育自己診断 保護者アンケート結果より></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;"> <table border="1"> <caption>1-4 子どもは学校の行事に積極的に参加しようとしている</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>あてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>あてはまらない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>57%</td> <td>31%</td> <td>6%</td> <td>2%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>75%</td> <td>22%</td> <td>1%</td> <td>1%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>60%</td> <td>34%</td> <td>3%</td> <td>1%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>65%</td> <td>30%</td> <td>4%</td> <td>1%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>72%</td> <td>23%</td> <td>3%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 28%;"> <p>左図は、H28において肯定的評価が95%となっており、家庭でも積極的に参加する生徒たちを感じていただいていることがわかります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 70%;"> <table border="1"> <caption>1-9 学校は子どもの学年に応じた人権を尊重する意識・命を大切にする意識を育てている</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>あてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>あてはまらない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>13%</td> <td>58%</td> <td>23%</td> <td>1%</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>27%</td> <td>57%</td> <td>12%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>25%</td> <td>53%</td> <td>16%</td> <td>2%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>19%</td> <td>56%</td> <td>23%</td> <td>1%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>24%</td> <td>59%</td> <td>17%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 28%;"> <p>「人権を尊重する意識や、命を大切にする意識を育てている」かの、保護者評価は、83% (H28)の肯定的評価となっています。</p> </div> </div> <p>東地区は、保・幼・小・中の間、各年代では40人に満たない小集団となり、集団替えがない同じ仲間と10数年間ともに過ごすこととなります。この特徴を最大のメリットにし、東地区でしかできない育み・教育をめざすことができます。一方、小さい集団で、集団の中に居づらさを感じている生徒が各学年数名います。この生徒たちが集団の中で安心できる居場所として活動できる人権教育の充実をめざすことが大切です。</p> <p>豊かな心・思いやりの心を育むための第一歩が「気持ちの良いあいさつができる」ことだと考</p> | 学年 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | H24 | 57% | 31% | 6% | 2% | 4% | H25 | 75% | 22% | 1% | 1% | 1% | H26 | 60% | 34% | 3% | 1% | 5% | H27 | 65% | 30% | 4% | 1% | 3% | H28 | 72% | 23% | 3% | 3% | 0% | 学年 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | H24 | 13% | 58% | 23% | 1% | 6% | H25 | 27% | 57% | 12% | 2% | 2% | H26 | 25% | 53% | 16% | 2% | 5% | H27 | 19% | 56% | 23% | 1% | 1% | H28 | 24% | 59% | 17% | 0% | 0% |
| 学年 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H24 | 57% | 31% | 6% | 2% | 4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25 | 75% | 22% | 1% | 1% | 1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 60% | 34% | 3% | 1% | 5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 65% | 30% | 4% | 1% | 3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 72% | 23% | 3% | 3% | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学年 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H24 | 13% | 58% | 23% | 1% | 6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25 | 27% | 57% | 12% | 2% | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 25% | 53% | 16% | 2% | 5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 19% | 56% | 23% | 1% | 1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 24% | 59% | 17% | 0% | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

えます。地域から、東地区はあいさつ習慣についていい評価を受けていますが、さらに、「気持ちのいいあいさつ」ができる生徒の育成を大切にします。



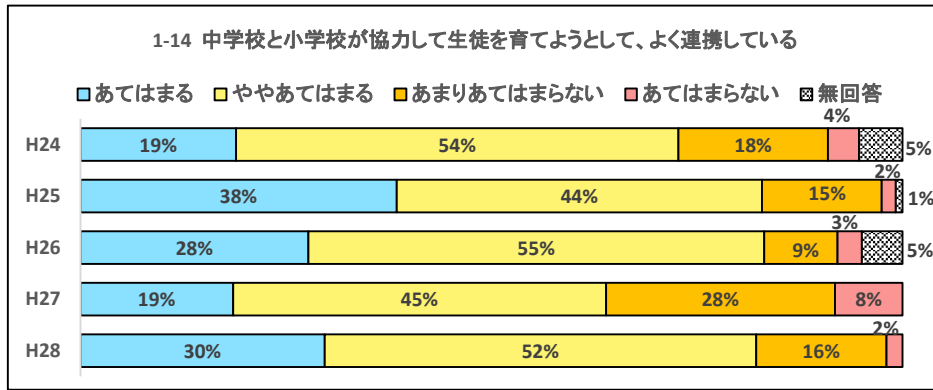
左図は、生徒アンケートの結果です。概ね、あいさつ習慣があるものの、家族や地域の方々にも、さらに

気持ちのいいあいさつができるよう取り組みを推進します。

④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）

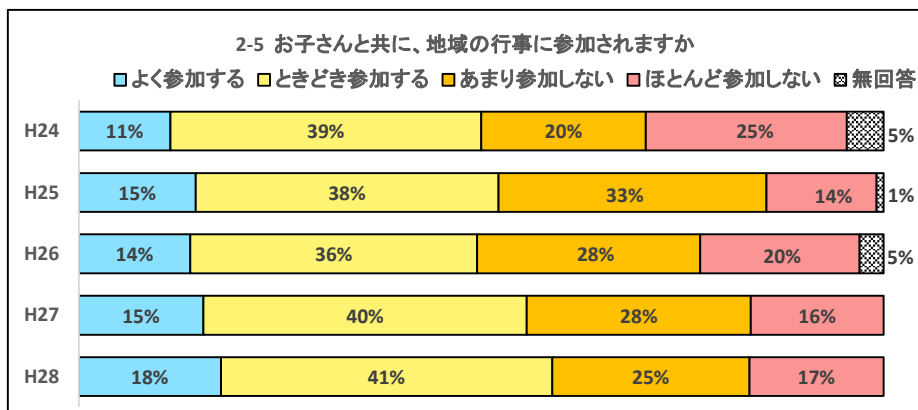
- ①後期生徒会のスローガンの「他人の傷み、心で感じる気持ちが大事」に感心し、うれしく思いました。
- ②子どもたちにとって、日々の生活の中で周りの大人の「温かい心」に触れることを重ねていくことがとても大切だと思っています。学校評価アンケートの「先生はふだんから悩みや相談事をしっかり聞いてくれる」の割合が近年の中で一番高くなっていることがとても有難いです。
- 仲間のがんばったところを考えさせ、仲間でも共有する取り組みは、集団の中で自分の存在を確認することができて、本人の大きな励みになると思います。また、学級だよりなどで親が見ても、とてもうれしいだろうなと思います。
- 学級通信にある「良かったところ・反省するところ」を伝え合う活動は、当学校の特徴としてもっと周知をしても良いでしょう。
- 少人数である東能勢の特徴を、むしろ逆手にとって東能勢中にしかできない育み・教育を地域挙げて実現させましょう。
- アンケートのなか「子どもは学校の行事に積極的に参加しようとしている」の「あてはまる」の割合が上がっているのは、行事についての学校の工夫や保護者の協力によるものであると思ひ、とても評価したいと思う。
- 行事などでのがんばりや楽しかったことや友達とのかかわりは、思い出になりいつまでも心に残ると思う。
- 学級通信でよく読ませてもらっていますが、道徳の時間を設けてあるのはとても大切なことだと思います。

| <p>① 設定目標</p> | <p>小中連携、保護者・地域との連携</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------|------------|---------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|---------|------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| <p>② 本年度の取り組み状況</p> | <p>小中連携の充実</p> <p>小中連絡会議を定期的で開催し、小中共通の課題を研究・協議できた。その中で、次のように取り組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校で取り組んでいる「授業スタンダード」を「東能勢中校区の授業スタンダード」として小学校と共有した。今後、PDCA サイクルの中で充実を図っていく。 ・小学校、中学校それぞれの全国学力・学習状況調査の分析結果を交流し、東地区小中9年間での学力向上に向けた取り組みを進める。 ・中学校の定期テスト1週間前とリンクさせて、小学校でも家庭教育強化週間を設けて、校区として家庭学習に取り組むシステムを継続している。 ・学校協議会を小中合同で行う(3/7 予定)。小中連携してできる取り組みを考え、意見を交流する。 <p>地域・保護者と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区の9つの自治会に学校だよりを毎月届け、自治会で回覧をしていただき、本校の教育活動の様子を知らせている。 ・校区青少年育成協議会では、青少年指導員を中心に、保、幼、小、中、校区9つの自治会が連携・協働し、10月30日のミニスポーツ大会を開催した。 ・地域の指導者による放課後の学習「まなび舎n i g h t」が2年目となり、18名が毎週水曜日約2時間学習に取り組んでいる。 ・PTA主催の草刈りデーを設定し、環境整備を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p> | <p><学校教育自己診断 保護者アンケート結果より></p> <div data-bbox="261 1377 1197 1697"> <p>1-3 子どもは学校だより・保健だより・月予定表や学年通信など各種のたよりを見せている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>あてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>あてはまらない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>40%</td> <td>34%</td> <td>15%</td> <td>9%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>43%</td> <td>36%</td> <td>17%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52%</td> <td>25%</td> <td>20%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="261 1742 1197 2072"> <p>1-6 学校は教育方針などをPTA総会や学校だよりなどの通信で分かりやすく伝えている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>あてはまる</th> <th>ややあてはまる</th> <th>あまりあてはまらない</th> <th>あてはまらない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>29%</td> <td>53%</td> <td>12%</td> <td>2%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>26%</td> <td>59%</td> <td>13%</td> <td>1%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>28%</td> <td>59%</td> <td>12%</td> <td>1%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>年々、各種たよりを保護者に見せるようになっており、77% (H28)の肯定的な評価となっていますが、保護者の方々との連携をさらに深めるため、確実に届けられるようしなければなりません。</p> | 年度 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | H26 | 40% | 34% | 15% | 9% | 5% | H27 | 43% | 36% | 17% | 4% | 0% | H28 | 52% | 25% | 20% | 3% | 0% | 年度 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | H26 | 29% | 53% | 12% | 2% | 5% | H27 | 26% | 59% | 13% | 1% | 2% | H28 | 28% | 59% | 12% | 1% | 1% |
| 年度 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 40% | 34% | 15% | 9% | 5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 43% | 36% | 17% | 4% | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 52% | 25% | 20% | 3% | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 29% | 53% | 12% | 2% | 5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 26% | 59% | 13% | 1% | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 28% | 59% | 12% | 1% | 1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



小中連携について、全体的傾向として、保護者に理解が得られてきています。在籍数の減少が続き中学校においても全学年1学級となる中、今後より一層小

中9年間での育みが重点目標となります。取り組みを進める上で、保護者に理解を得て学校と保護者が協働できることが大切になります。



左図より、地域行事に参加する人数割合は、わずかずつですが、増加傾向です。学校・保護者・地域の協働の深まり傾向を表すデータです。

④ 学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)

- 学校だよりの自治会回覧を評価します。ありがとうございます。この問題（地域との連携）も地域あげでの取り組みが必要と考えます。
- 学校評価アンケートの1-6「学校は、、わかりやすく伝えている」の割合が高いことでもわかるように、先生方もたくさんの通信を出して下さっており、またそれが保護者に伝わっているのだということがわかります。
実際「P」と「T」が会って親睦を重ね、信頼関係を築くことが理想ですが、実際はそれも難しく。しかし、通信などの利用で学校側が上手に保護者に伝えてくださると、保護者も「みかた」となり、相乗効果が期待できると思います。お忙しい中大変ですが、今後もよろしくお願ひいたします。
- 「学校だよりの」が自治会から回覧されていますが、あまり記憶に残りません。各自治会での必要部数を確認するなど、効果的な方法を考えたほうが良いと思います。
- 東能勢中学校だけではなく、各学校ホームページが町ホームページのリンクから見つけにくい状態です。
- 小中連携がまだまだ少ないように思う。例えば、中学校の体育祭を午前中に実施し、午後からは小学生を交えたスポーツ大会を実施するなどしてはどうか。
- (学校協議委員・保護者の立場より)
学年懇談会や草引き等へ出席・参加する顔ぶれが偏っているなど思うことがあります。何度もないことなので残念です。